

タイトル	ゲームは続くよどこまでも	
対象年齢	保護者	ペープサート

<作成の意図>

メディア(ゲームやスマホ, DVD, TV など)に長時間ふれることでのあまりよくない影響や, 上手なメディアとの付き合い方を考える機会とする。

○内容(あらすじ等)

お母さんから子どもと遊ぶように言われたお父さん。外遊びに誘うが子どもはゲームに夢中。するとお父さんは一緒にゲームを楽しんでしまう。本当はどうしたらよかったのかなどを考える。

○配慮事項

ストーリーの最後の問いかけ部分に関しては, あくまで文例です。参考にしてください。



『ゲームは続くよ どこまでも』

ナレーター	B君のおうちの様子を見てみましょう。	
お母さん	「お父さーん。たまにはBと外で遊んであげてよ。」	お母さん登場
お父さん	「よーし、外で一緒に遊ぼうか。」	お父さん登場
B君	「うーん。あそぶー！」	
ナレーター	あれあれ？ 遊ぶと言ったB君ですが、なかなか外に出てきませんね。	
お父さん	「おーい。まだかー？」	
B君	「あと、もうちょっと！」	
ナレーター	お父さんがB君の様子を見に行くと、 B君はゲームに夢中になっていました。	
お父さん	「ああ、それをしていたのか。ちょっとお父さんに貸してみろ。」	B君とスマホ登場
B君	「あっ！やだよ。僕がしてるんだもん。」	
お父さん	「ちょっとだけだから。お父さんのほうが上手だぞ。」	
B君	「もう・・・」	
ナレーター	いつの間にか、お父さんも一緒にゲームを始めてしまいました。	
お父さん	「ほうら、お父さん上手だろう～。」	
B君	「やった！ゲームクリアできたね！」	
ナレーター	B君とお父さんはゲームに夢中になって、お母さんがご飯やお風呂に誘っても、返事だけしてなかなかゲームがやめられなくて、結局眠るのが遅くなってしまいました。 そんな日が何日か続くと、お父さんとB君は朝もなかなか起きられなくなってしまいました。	

※「お家でこんな場面はありませんか？」「そんなときは、どうしていますか？」

「本当はどんなふうになってほしかったですか？」などの問いかけをしてみましょう。

※メディア（テレビ・ゲーム・スマホなど）に長時間ふれることでどんな弊害があるでしょうか？

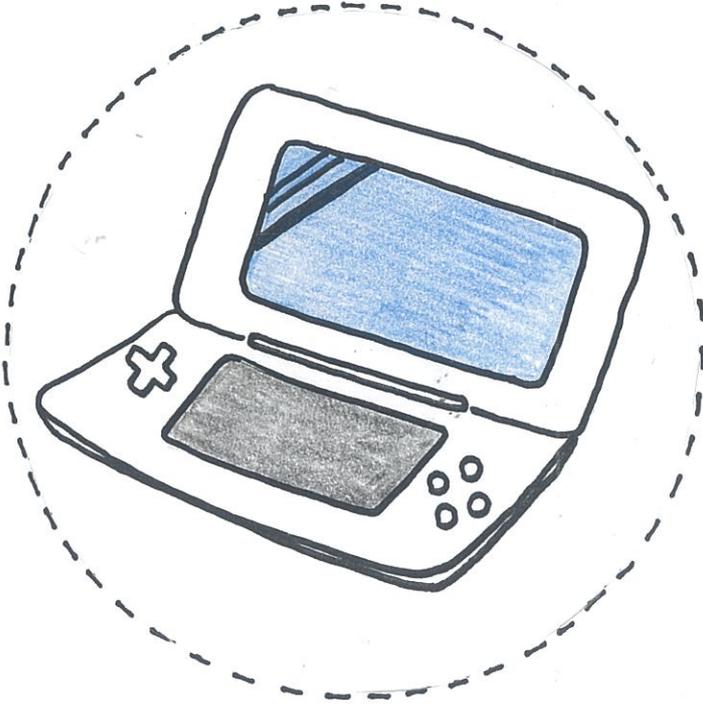
上手なメディアとの付き合い方を考えてみましょう。

「ゲームは続けたいけども」
「せめていい」

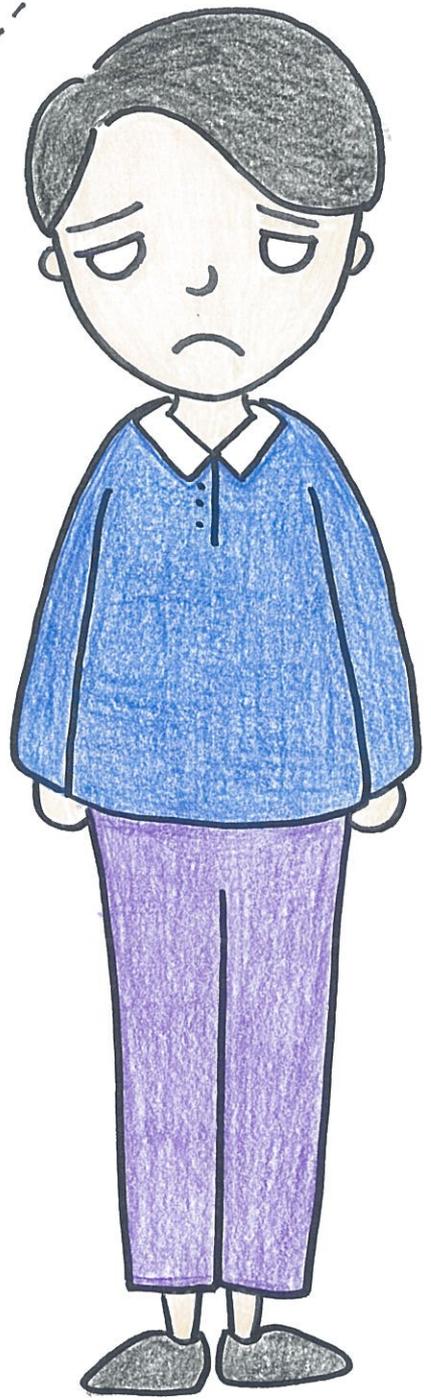
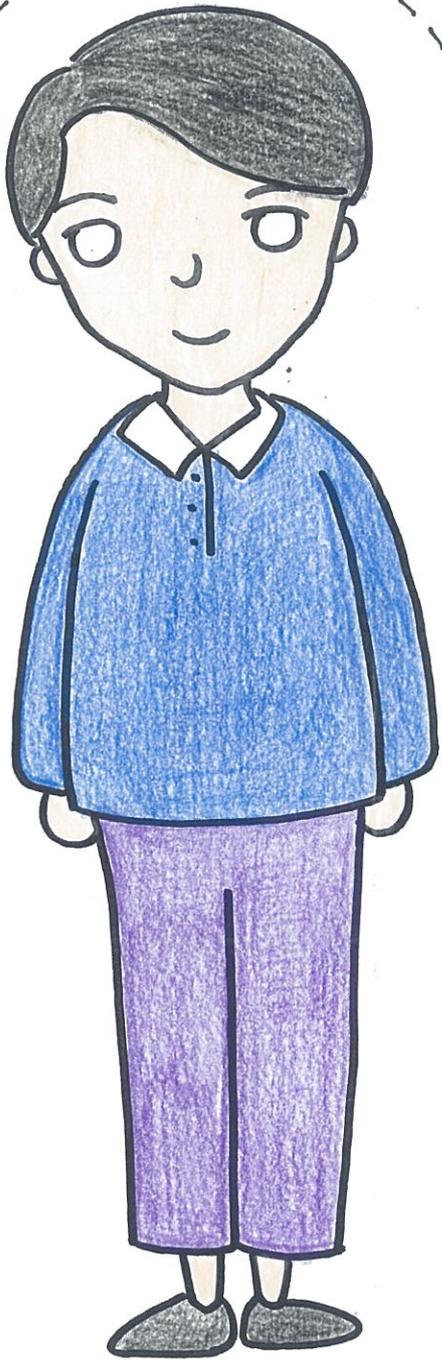
Ben



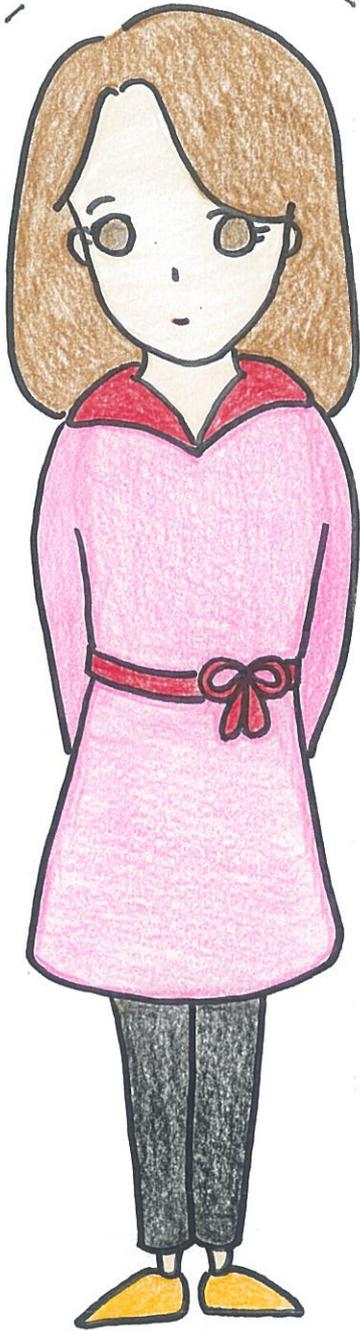
ゲームとスマホ



「ゲームは長くは遊ばない」
「やめられない」
おとうさん

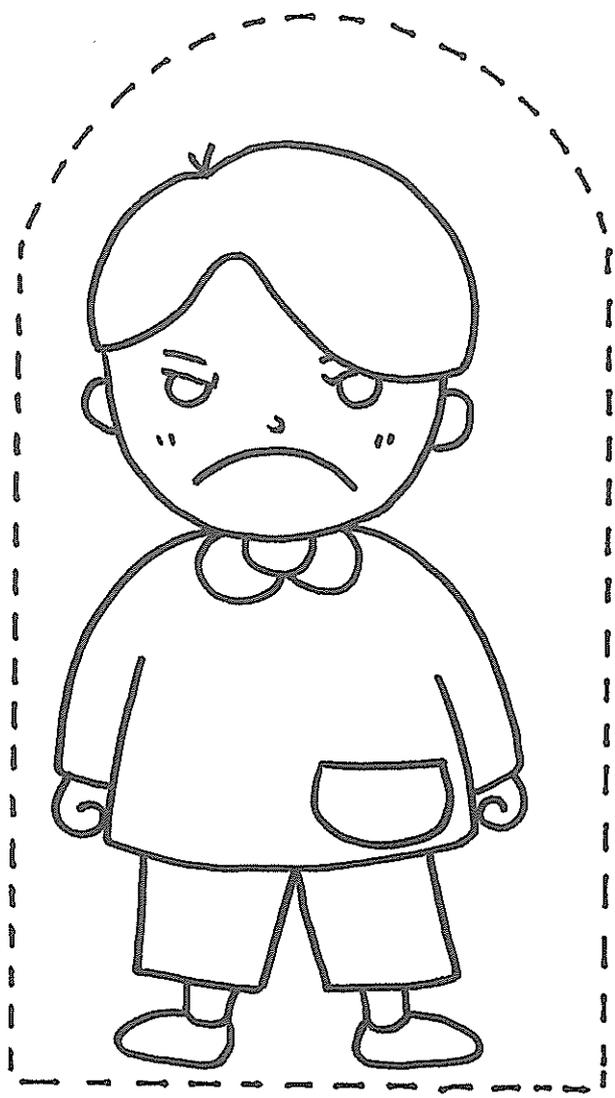
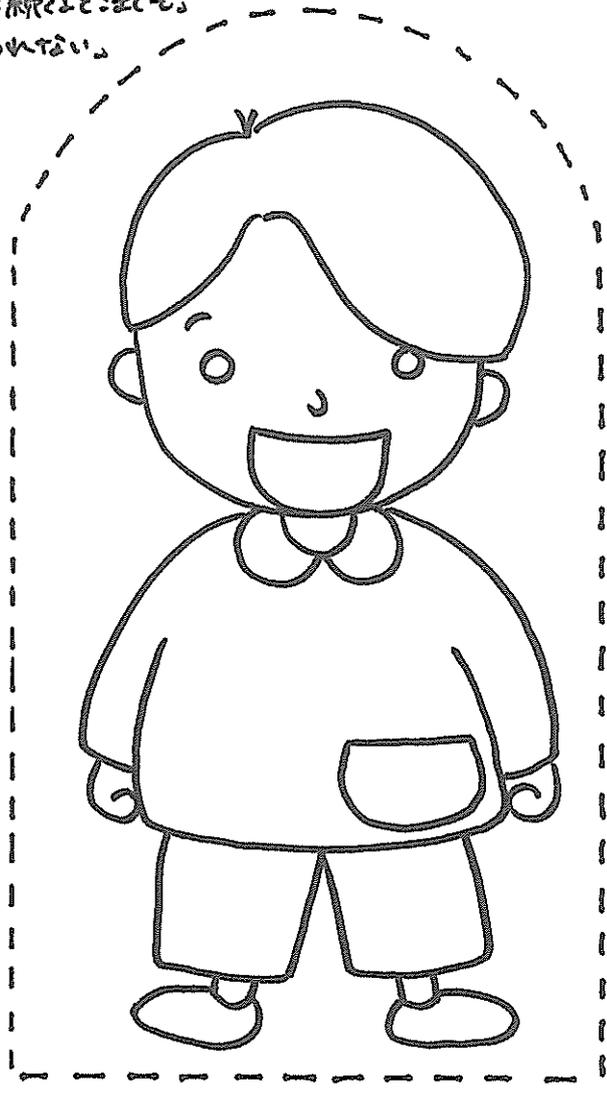


「ケ」は「へ」より上と「ま」も、
「いやだ」「いやだ」
「赤ちゃんの声」
おあまさん

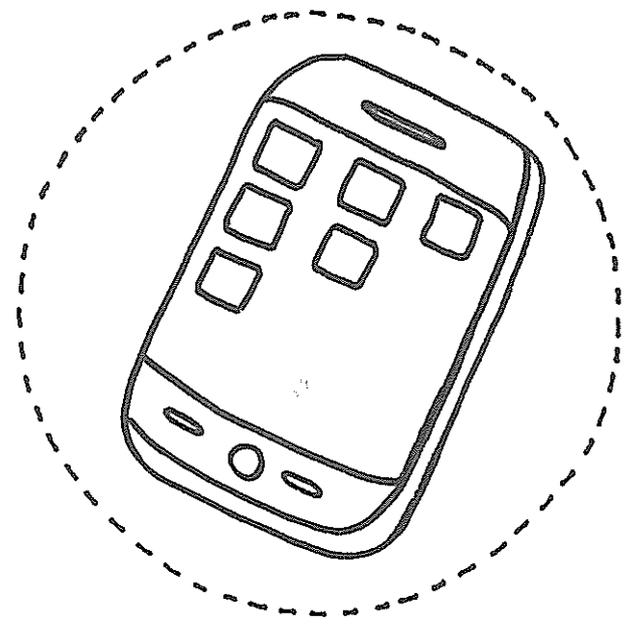
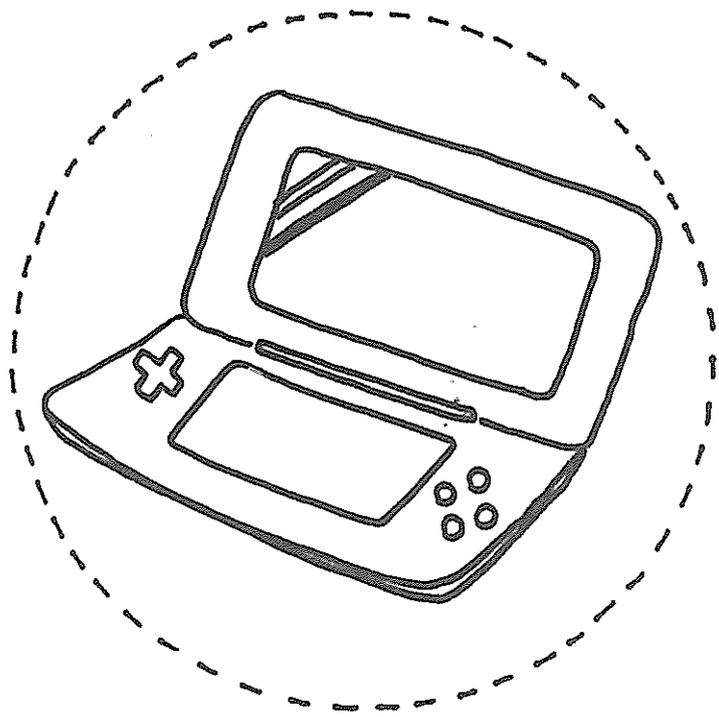


「ゲームは続けるよ」といって
「やめろやめろ」といって

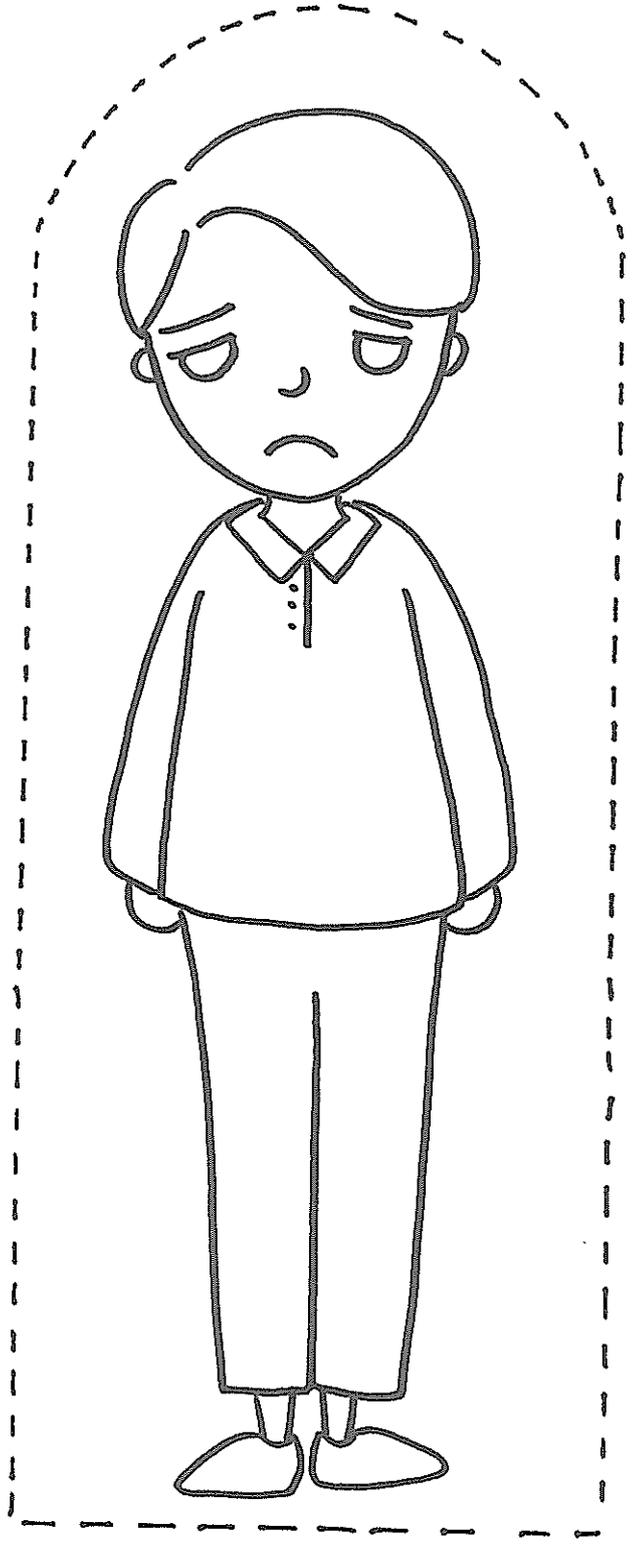
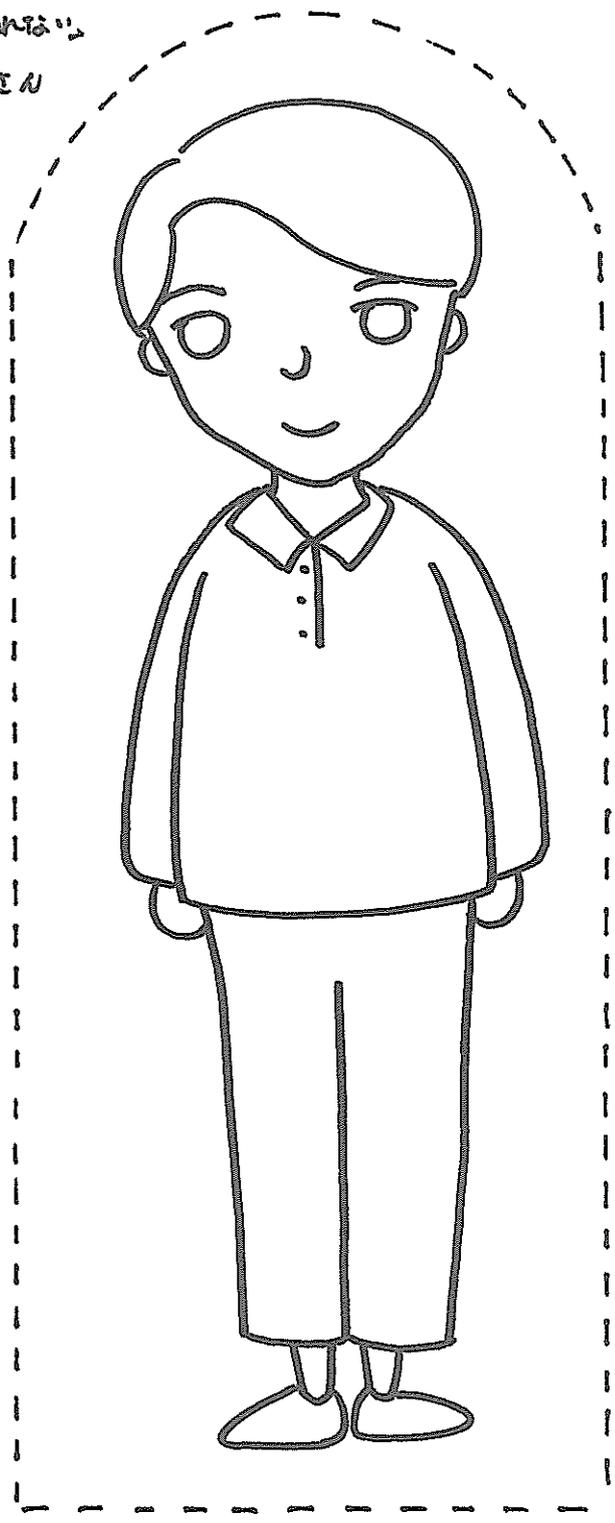
BCW



ゲームの要素



「ゲームは長くよほどで
知られは
おじさん



「おねえさんの声」
「おねえさん」
「おねえさん」
「おねえさん」
「おねえさん」

